

「南アルプスを知ろう！」

講演会

2016.3.19(土) 13:30~16:15 [開場13:00]

[会場] もくせい会館 静岡県静岡市東区藤原3-6-1

入場無料
申込み不要

講演①

「仙丈ヶ岳のシカ食害エリア
における高山植生回復活動」

仙丈ヶ岳の高山植物回復に向けた調査や取組を中心に南アルプスの植生管理のあり方についてお話します。

講師/渡邊 修氏 (信州大学農学部 准教授)

農林水産省資源誌助成。岐阜大学流域科学研究所センター、独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構を経て信州大学農学部、外来種等、延滞の分布、生態調査をベースにした植生管理技術に関わる研究を行っている。また、山岳域の植生管理に関する研究にも従事しており、長野県内の南アルプス高山区域における「シカ食害防止のために設立された「南アルプス食害対策協議会」のメンバーとして、ニホンジカの行動や高山植物の回復に関する調査に取り組みしている。このような取組が評価され、協議会として平成24年度に「あどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞。

講演②

「山岳環境の変化と保全」

南アルプス国立公園のニホンジカ対策について、これまでの取り組みと今後の高山植物保護対策を含め高山帯の多様性についてお話します。

講師/仁田 晃司氏 (環境省南アルプス自然保護官)

環境省自然保護官、南アルプス国立公園を所管する環境省南アルプス自然保護官事務所所属。過去に中部山岳国立公園、尾瀬国立公園などの自然保護官を歴任。昨年度までは関東地方環境事務所野生生物課において、アホウドリなどの希少鳥類等の保護を担当し、鳥島や小笠原など現場での業務にも熱心に取り組む。南アルプスにおけるライチョウの域内保全についても計画段階から関わり、今年度から現場での保護増強事業に関わる。現在、北岳、仙丈ヶ岳、荒川岳において防鳥柵を設置するなど、ニホンジカ対策に尽力している。

プログラム

13:00~13:30	受付
13:30~13:40	開会挨拶
13:40~15:00	講演/渡邊 修氏 (信州大学農学部 准教授) 「仙丈ヶ岳のシカ食害エリア における高山植生回復活動」
15:00~15:10	休憩
15:10~16:00	講演/仁田 晃司氏 (環境省南アルプス自然保護官) 「山岳環境の変化と保全」
16:00~16:15	自然保護課報告 「生物多様性地域戦略の策定について」
16:15	閉会

会場案内

会場には、公共交通機関をご利用ください。

静岡県総合研修所 もくせい会館 静岡県静岡市東区藤原3-6-1

JR静岡駅北口から徒歩約15分
静岡自動車から徒歩約5分

JR静岡駅北口5番・6番乗場及び新静岡駅3番・4番乗場から乗車し、「水窪町もくせい会館入口」下車

